

都市鉱山から作る「みんなのメダルプロジェクト」!

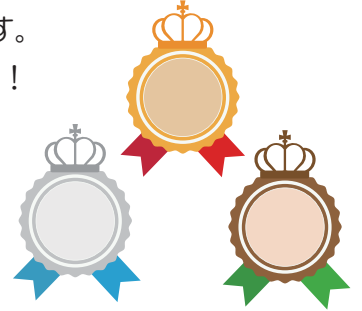
「みんなのメダルプロジェクト」は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の約5000個の金・銀・銅メダルを、全国各地から集めたリサイクル金属で作る国民参画型プロジェクトです。

使用済みのパソコン、デジタルカメラ、携帯電話などがメダルに生まれ変わります!

パソコンなどは業者が無料で回収してくれますし、自治体の窓口に回収ボックスがある場合もあります。

自分のパソコンが、メダルに変わるなんて、ちょっと夢のあるお話しですね!

ウェブサイト: <http://www.toshi-kouzan.jp/>



「Eco列車でいこう!」～第103回～ 「ちんころ」を買いに…

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)



十日町の「ちんころ」は、米の粉を練った人形細工で、正月の縁起物だ。その「ちんころ」を買いに行く旅に出た。長岡から、たった1両のディーゼルカーに乗って飯山線に入る。越後岩沢を過ぎると、積もった雪から「もや」のように水蒸気が舞い上がり、とても幻想的な光景が広がった。

8:21十日町着。晴天だが気温は氷点下だ。額と頬と手先が冷たい。アーケードを歩いて約10分で「節季市」会場に到着した。「節季市」は1月10, 15, 20, 25日限定の市で、わら細工や八百屋さん、焼き芋屋や、ストラップを売る店などの露店が100m程度の距離に多数並んでいる。

晴天の土曜日だからなのか、お目当ての「ちんころ」屋台には、すでに50人以上が待っていた。向かいの韓国屋台のチヂミやトッポギのにおいを嗅ぎながら、開店時間の9時までを過ごした。

開店しても、列は進まない。「ちんころ」は一つ一つ違うので、特に女性は選ぶのに時間がかかる。寒い中結局90分も待って、ようやく10時頃、犬の「ちんころ」3体をゲットすることができた。

天気がいいので、「ちんころ」をお供に、この先も旅を続ける。十日町駅に戻って「超快速スノーラビット」で一気に直江津へ。えちごトキめき鉄道に乗り換えて、高田、上越妙高、新井を通過、お昼前に妙高高原に到着した。

駅前の大衆食堂で安くておいしいカキフライ定食を食べた後、駅周辺を散策した。赤倉、池の平などのスキー場周辺にはにぎわっているかもしれないが、駅前は寂れて往時の面影は無い。しかし悠然と広がる「妙高山」の山容はすばらしかった。

帰りは雨模様となった。日本海の荒波を見ながら、柏崎へ。立派なブルボン本社を外から見て、越後線に乗車。刈羽、礼拝、出雲崎、寺泊、分水などをのんびり通過。吉田でも乗り換え時間に街歩きをして、新潟へは18時前に到着した。

現在「ちんころ」は会社に鎮座している。米粉が原料なので、そのうち「ひび」が入るとのこと。そして「ひび」がたくさん入ると縁起がいいと言われている。

【1月20日(土)】

新	潟	6:05
長	岡	7:20
		7:27
十	日	8:21
		10:21
直	江	10:53
		10:55
妙	高	11:44
	高	13:01
直	江	13:53
	津	14:20
柏	崎	15:04
		15:29
吉	田	16:35
		17:00
新	潟	17:54

